

自走式クラッシャLandy Jawsシリーズで リサイクルに貢献



日立建機株式会社中部支社

(名古屋市中川区)

渡辺勇三 支社長

日立の破砕機Landy Jawsシリーズの販売でおなじみの賛助会員、日立建機中部支社を訪ねました。敷地内には真新しい油圧ショベルが並び、社屋は1階が名古屋支店、2階が中部支社という複合施設で中部地区に万全の販売・サービス体制を整備しているそうです。渡辺支社長に産廃処分業者との関わりについてお話を伺いました。

— 中部支社の沿革を教えてください。

渡辺支社長（以下、渡辺に略）「伊勢湾台風の2年くらい前から大同製鋼で整備関係を始めたのが最初で、昭和36年、伊勢湾台風の後に鳴海に工場を建てて、平成6年まではそちらにありました。工場ができた頃は、あの辺りも田んぼばかりだったのですが、その後の住宅の増加と、道路の整備によって交通量が増してトレーラーの出入りに支障が出てきましたので、2年前に工場は岡崎に移し、営業拠点は現在の場所になりました。我々にとっては鳴海は発祥の地ですので、顧客もまだ鳴海周辺に多いんです。名和に営業所がありますが、より完璧なサービス体制の確保のため、もうひとつ大きなサービスセンターを作ることも検討中です。」

— 日立建機と産廃の結び付きといいますと、やはり破砕機がメインになりますか。

渡辺「そうですね。うちの破砕機はJawsという名前が付いていまして、最大170t/hの標準処理能力を備えたHR420GやHR320Gなど低騒音、低振動で強力な自走式クラッシャが揃っています。実はこの破砕機の試作の雛型は中部支社で土浦工場設計部と共同で開発しまして、その後、量産のため土浦工場に移管した経緯



社名/日立建機株式会社中部支社 所在地/名古屋市中川区山王1-601
代表者/渡辺勇三 本社設立/昭和45年 従業員/260名 (中部支社のみ)
TEL/052 (332) 6110
事業所/管轄は愛知、岐阜、三重、静岡、富山、石川、福井各県全26店舗
事業内容/建設機械・運搬機械及び超音波計測機器等の製造・販売・サービス

がございます。ですから破砕機としては里帰りみたいなものなんですね。」

— 企業理念を教えてください。

渡辺「『豊かな町を未来へ、快適な生活空間創りに貢献する日立建機』というものです。ですから、いかに快適な環境に進んで行けるかということは当社が日常心掛けていることですので、産業廃棄物の問題は共に考えていくことだと思います。リサイクルなど産業廃棄物に関する諸問題は、人間が地球上に生きていくうえで不可欠なことですし、大きな課題でもあり、今後ますます脚光を浴びていく分野だと思います。」